

総務

一 目 統 計

(2町消防事務受託分含む)

消 防 予 算	4,029,055,000 円 (市予算 3.71%)
一 般 会 計 総 予 算	108,475,000,000 円
消 防 職 員 定 数	361 人 以 内
市 職 員 定 数	3,095 人 以 内
人 口 (委 託 2 町 含 む)	337,575 人
人口の最も多い地区 (四日市市)常磐地区	28,173 人
人口の少ない地区 (四日市市)水沢地区	3,151 人
消 防 車 両 等	
(常 備) はしご自動車	2 台
化学消防自動車	2 台
水槽付ポンプ自動車	9 台
消防ポンプ自動車	8 台 (救助工作機能付1台含む)
小型動力消防ポンプ付水槽車	1 台
大型化学高所放水車	1 台
はしご機能付高所放水車	1 台
泡原液搬送車	2 台
救助工作車	2 台
高規格救急自動車	14 台
大容量送水ポンプ車	1 台
大型放水砲車	1 台
その他車両	40 台
(非常備) 消防ポンプ自動車	25 台
水槽付ポンプ自動車	1 台
消防ポンプ積載車	1 台
資機材搬送車	2 台
参 考 (受 託 2 町 非 常 備)	
(朝日町) 水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	5 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	
(川越町) 水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	11 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	

平成29年度・30年度消防費歳出予算(当初額)

(千円)

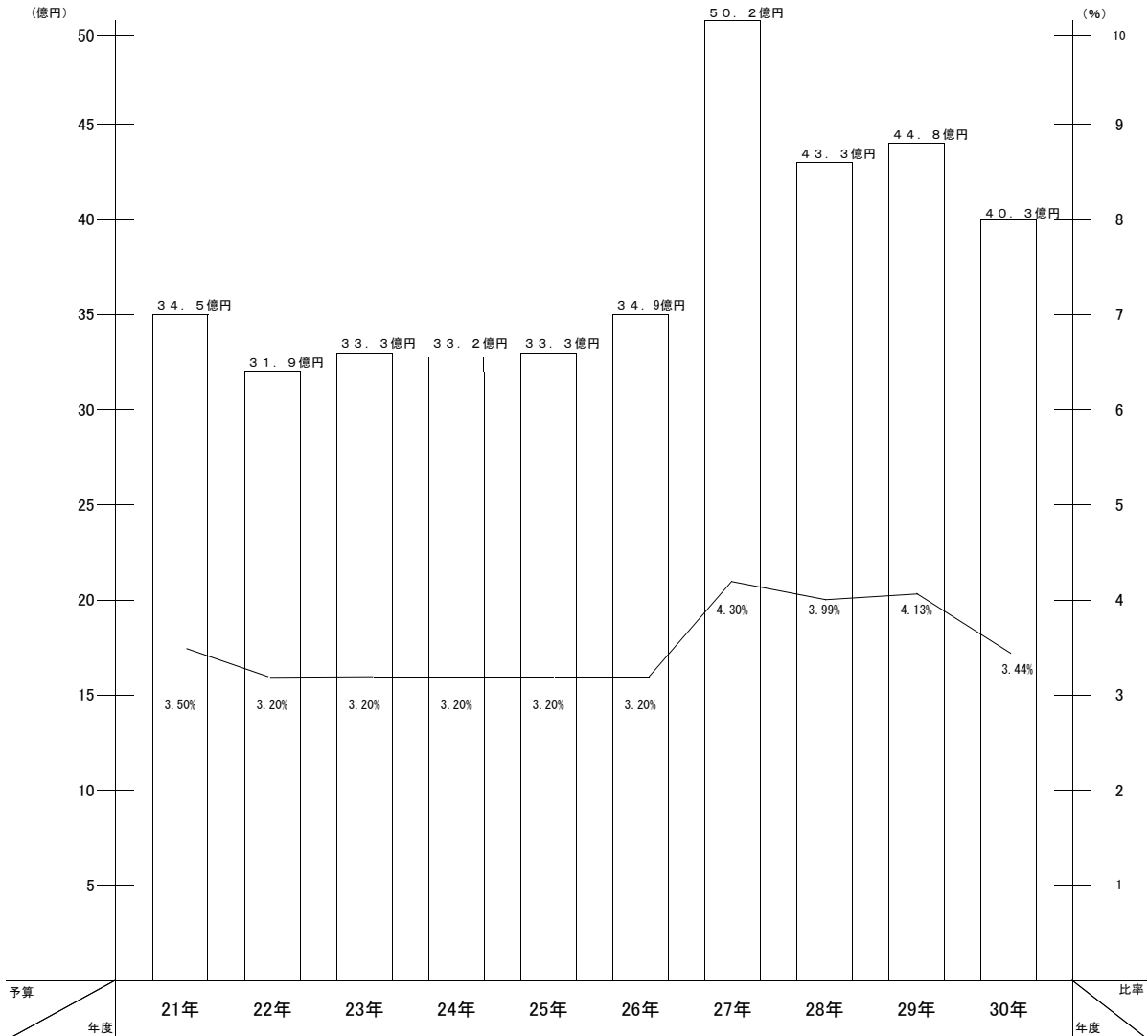
款 項 目	節	平成29年度	平成30年度	比較増△減
消 防 費		4,477,130	4,029,055	△ 448,075
消 防 費		4,477,130	4,029,055	△ 448,075
常備消防費		3,410,533	3,577,759	167,226
	給 料	1,300,702	1,310,366	9,664
	職 員 手 当	1,259,662	1,391,934	132,272
	共 濟 費	478,096	491,851	13,755
	賃 金	2,754	2,846	92
	報 償 費	9,382	9,384	2
	旅 費	5,930	5,265	△ 665
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	130,327	111,468	△ 18,859
	役 務 費	9,150	9,202	52
	委 託 料	71,421	84,566	13,145
	使用料及び賃借料	4,440	7,295	2,855
	工 事 請 負 費	14,200	25,822	11,622
	原 材 料 費	50	50	0
	備 品 購 入 費	7,775	6,253	△ 1,522
	負担金補助及び交付金	86,617	87,430	813
	補償補填及び賠償金	30,000	34,000	4,000
	公 課 金	27	27	0
非常備消防費		140,028	142,670	2,642
	報 酬	17,442	17,442	0
	共 濟 費	1,178	1,178	0
	災 害 補 償 費	2,800	2,700	△ 100
	報 償 費	12,410	12,410	0
	旅 費	69,335	71,789	2,454
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	12,413	12,791	378
	役 務 費	0	0	0
	委 託 料	1,793	2,456	663
	使用料及び賃借料	511	568	57
	工 事 費	1,000	0	△ 1,000
	備 品 購 入 費	780	480	△ 300
	負担金補助及び交付金	20,366	20,856	490
	補償補填及び賠償金	0	0	0
消防施設費		925,376	307,443	△ 617,933
	需 用 費	500	0	△ 500
	役 務 費	672	269	△ 403
	委 託 料	53,178	5,711	△ 47,467
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工 事 請 負 費	582,499	101,268	△ 481,231
	公有財産購入費	0	0	0
	備 品 購 入 費	288,354	200,195	△ 88,159
	負担金補助及び交付金	173	0	△ 173
水 防 費		1,193	1,183	△ 10
	報 償 費	0	0	0
	旅 費	0	0	0
	需 用 費	587	567	△ 20
	委 託 料	0	0	0
	工 事 請 負 費	0	0	0
	原 材 料 費	606	616	10
	備 品 購 入 費	0	0	0
	負担金補助及び交付金	0	0	0

消防費に対する人口世帯当り額

	消防費（千円）	人口（人）	世帯	1人当り額（円）	1世帯当り額（円）
平成26年度	3,497,664	337,162	140,956	10,374	24,814
平成27年度	5,026,048	337,267	142,518	14,902	35,266
平成28年度	4,332,827	337,580	144,033	12,835	30,082
平成29年度	4,477,130	337,291	145,377	13,274	30,797
平成30年度	4,029,055	337,575	147,457	11,935	27,324

過去10年間の消防費の推移

%は、市一般会計予算額に対する消防費の比率



消 防 職 員 の 推 移

(平成30年4月1日現在)

年 度 別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
定 員	320	361	361	361	361	
実 員	消防吏員	316	315	332	336	339
	再任用/その他の職員	5	11	11	17	19
	合 計	321	326	343	353	358
消防職員定員増減	0	41	0	0	0	

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員・嘱託職員は合計数に含まず)

消 防 職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

(平成30年4月1日現在)

階 級 別 資格種別		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自 動 車 免 許	大 型	261	1	5	15	38	74	117		11
	け ん 引	7				1	5	1		
	大 型 特 殊	8				2	5	1		
自動車整備士		5			1	1	3			
小型船舶操縦士1級		12			1	1	3	7		
小型船舶操縦士2級		49		2	2	3	17	23		2
小型移動式クレーン		288	1	2	10	21	60	131		63
玉掛資格		339	1	6	16	39	75	139		63
ガス溶接資格		259	1	1	13	34	73	126		11
無 線 技 師	第2級海上特殊無線技士	7					3	4		
	レーダー級海上特殊無線技士	6					3	3		
	第2級陸上特殊無線技士	322	1	7	17	41	80	143		33
	第3級陸上特殊無線技士	30								30
救 急	救急I課程	16		3	3	1		9		
	救急II課程(標準課程含む)	276	1	1	10	31	61	110		62
	救急救命士	78		1	4	11	19	43		
応急手当指導員		349	1	7	16	41	81	140		63
第2種衛生管理者		26	1	3	3	10	6	3		
酸素欠乏危険作業主任者		49		1	8	18	11	10		1
潜水士		46				4	14	24		4
予 防 技 術 資 格 者	防火査察	48	1	3	5	8	11	19		1
	消防用設備	30		2	2	8	6	12		
	危険物	36		2	5	6	11	12		
危 険 物 取 扱 者	甲種	9		1			2	6		
	乙種	241	1	2	5	14	45	115		59
消 防 設 備 士	甲種	6		1			2	3		
	乙種	17		3	1	2	4	5		2
防火対象物点検資格者		3				2	1			

階級別・所属別消防職員配置状況

(平成30年4月1日)

階級別 所属別		合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
合計		358(12)[3]<15>⑨③	1	7	16[3]	41(1)<1>	81(1)<4>	140(1)<6>⑨		72(9)<4>	③
消防	消防長	1	1								
	副消防長	1		1							
	警防技監	0									
	政策推進監兼同和行政推進監	1			1						
	小計	21(12)[1]<2>①		1	[1]	3(1)<1>	3(1)	5(1)<1>①		9(9)	
	課長	1		1							
	課長補佐	[1]			[1]						
	総務課付	12(12)<1>				1(1)<1>	1(1)	1(1)		9(9)	
	総務係	4<1>				1		3<1>			
	装備係	3				1	2				
課員	1①						1①				
消防救急課	小計	28<1>②			3	5	8	12<1>②			
課長	1			1							
課長補佐	1			1							
警防係	18				4	6	8				
地域安全係	4①				1	1	2①				
救急救命室	4<1>①				1	1	2<1>①				
センター	防災教育	小計	[1]③		[1]						③
所長	[1]				[1]						③
所員	③										③
予保安課	小計	19<1>②		1	1	3	4<1>	10②			
課長	1		1								
課長補佐	1			1							
予防係	4				1	1	2				
保安係	5<1>				1	1<1>	3				
安全指導係	8②				1	2	5②				
情報	小計	14③		1	3	2	4	4③			
課長	1			1							
課長補佐	3				3						
指令係	10③					2	4	4③			
消防本部	小計	110[1]<5>⑥		1	3[1]	9	25<1>	47<1>⑥		25<3>	
署長	61[1]<3>④			1	[1]	7	12	25<1>④		16<2>	
副署長	1			1							
指導係	[1]				[1]						
消防救助係	7<1>④					1	1	4④		1<1>	
救急係	41<1>					3	11	16<1>		11	
中央分署	小計	30<2>①			1	1	6<1>	15①		7<1>	
分署長	1			1							
消防係	29<2>①				1	6<1>	15①		7<1>		
西分署	小計	17①			1	1	6	7①		2	
分署長	1			1							
消防係	16①					1	6	7①		2	
港分署	小計	2			1		1				
分署長	1			1							
分署員	1						1				
消防署	小計	90<4>②		1	3	11	19<1>	36<2>②		20<1>	
署長	45<2>①			1	1	7	8	16<1>①		12<1>	
副署長	1			1							
指導係	1			1							
消防救助係	4①				1	1	2①				
救急係	30<1>				3	7	10		10<1>		
北部分署	小計	26<1>①			1	2	6<1>	10①		7	
分署長	1			1							
消防係	25<1>①				2	6<1>	10①		7		
朝川分署	小計	19<1>			1	2	5	10<1>		1	
分署長	1			1							
指導係	2<1>					1	1<1>				
消防係	16				1	5	9		1		
南消防署	小計	73<2>③		1	2	8	18<1>	26<1>③		18	
署長	47<1>②			1	1	6	10	17<1>②		12	
副署長	1			1							
指導係	1			1							
消防救助係	6<1>②				1		4<1>②		1		
救急係	30				3	7	9		11		
南部分署	小計	26<1>①			1	2	8<1>	9①		6	
分署長	1			1							
消防係	25<1>①				2	8<1>	9①		6		
市部局へ出向		3			1		2				

()は県派遣職員および消防学校入校職員、<>は女性消防吏員、○数字は再任用職員、{ }はその他の職員をそれぞれ内数で表す。市長部局への出向職員、●数字の嘱託職員は合計数に含まず。[]は兼務である。

消 防 職 員 年 令 別 分 布

(平成30年4月1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	358	1	7	16	41	81	140	0	72	
18	2								2	
19	4								4	
20	8								8	
21	11								11	
22	8								8	
23	3								3	
24	7								7	
25	5								5	
26	9						3		6	
27	4						2		2	
28	10						5		5	
29	5						1		4	
30	7						6		1	
31	8						6		2	
32	8						7		1	
33	16					1	12		3	
34	13					1	12			
35	17						17			
36	18					3	15			
37	8					3	5			
38	10					5	5			
39	9					3	6			
40	4					3	1			
41	11				2	8	1			
42	10				1	4	5			
43	8				2	4	2			
44	7				3	4				
45	8				4	3	1			
46	11				6	3	2			
47	12			1	4	4	3			
48	8			1	2	3	2			
49	11				3	8				
50	11				4	5	2			
51	4				2	2				
52	5				4	1				
53	7			5		2				
54	5		1	1	1	2				
55	3			1		2				
56	8			5		3				
57	5	1	2		1	1				
58	2				1	1				
59	9		4	2	1	2				
60	5						5			
61	5						5			
62	3						3			
63	6						6			
64	0						0			

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員、嘱託職員は合計数に含まず)
平均年齢 **39.6** 歳

消 防 職 員 勤 続 年 数 別 分 布

(平成30年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	358	1	7	16	41	81	140	0	72	0
0～1	9								9	
1～2	15								15	
2～3	21								21	
3～4	11								11	
4～5	3						2		1	
5～6	5						2		3	
6～7	6						3		3	
7～8	4						2		2	
8～9	5						5			
9～10	18						16		2	
10～11	28					1	23		4	
11～12	20					1	18		1	
12～13	11					2	9			
13～14	13					2	11			
14～15	8					3	5			
15～16	7					4	3			
16～17	9					7	2			
17～18	7					4	3			
18～19	6					4	2			
19～20	4				2	2				
20～21	14				4	5	5			
21～22	4				1	1	2			
22～23	11				3	3	5			
23～24	6			1	4	1				
24～25	6				1	5				
25～26	12				2	9	1			
26～27	26			2	12	11	1			
27～28	5				2	2	1			
28～29	4				3	1				
29～30	3				2	1				
30～31	0									
31～32	5			2	1	2				
32～33	2		1			1				
33～34	0									
34～35	3		1	1	1					
35～36	7	1	2	2		2				
36～37	6		1	1		4				
37～38	12			3	2	2	5			
38～39	10			4		1	5			
39～40	4				1		3			
40～41	6						6			
41～42	2		2							
42～43	0									
43～44	0									
44～45	0									

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員、嘱託職員は合計数に含まず)

平均勤続年数 17.2 年

消 防 車 両 配 置 状 況

(平成30年4月1日現在)

区分		所属別													合計	消防団
		消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	北部分署	朝日川越分署	北西出張所	南消防署	南部分署	西南出張所	防災教育センター		
消 防 車	消防ポンプ自動車	-	1	1	-	-	1	1	-	1	-	1	1	-	7	25
	救助機能付消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
	水槽付ポンプ自動車	-	1	1	2	-	1	1	1	-	1	1	-	-	9	1
	化学消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	
	小型動力消防ポンプ付水槽車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	はしご自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	
	はしご機能付高所放水車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
	大型化学高所放水車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液搬送車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	
	消防ポンプ積載車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1
	大容量送水ポンプ車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
大型放水砲車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
高規格救急自動車		-	3	1	1	-	2	1	1	1	2	1	1	-	14	
そ の 他 の 車 両	指揮車	2	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	
	支援車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	水難救助車	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液運搬車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	資機材搬送車	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	4	2
	火災原因調査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	立入検査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	広報車	6	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1	-	-	15	
	防災指導車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	
	救急普及啓発車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	軽四トラック	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	5	
	乗用車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
合計		14	14	8	5	2	12	4	4	2	12	4	2	1	84	29

消防用資機材配置状況

(平成30年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	北部分署	朝川分署	南消防署	南部分署	合計
空気呼吸器		37	20	15		31	8	10	25	11	157
酸素呼吸器		4				5					9
エンジンカッター		3	1	3		2	2	1	2	1	15
高発泡器		1				2					3
大容量泡放射砲(1S)		1				1			1		3
可搬式放水銃		3	2	3		2		1	2		13
耐熱服		2	5			4			6		17
ガス測定器	1	6	1	1		6	1	1	4	1	22
各種測定器	4	12				10			19		45
救命ボート		3	1			1			1		6
油圧切断機		2				1			1		4
チェーンソー		2				2	2	1	3		10
ボートパワー						1					1
救命索発射銃		1				1			1		3
ガス溶断器		1				1		1	1		4
発動発電機		8	5	4	1	8	4	2	9	4	45
排送風機		2	1	2		2		1	1		9
エアソー等		2	1	1		1			1		6
救助幕		2									2
油圧スプレッター		2				1			1		4
マット型空気ジャッキ		1				1			1		3
削岩機		1				1					2
耐電衣		12				5			3		20
防毒衣		8				9			15		32
マンホール救助器具		1				1					2

高度救助用資機材

画像探索機 1型		1									1
画像探索機 2型						1					1
熱画像直視装置		2	3			1			1		7
地中音響探知機		1									1
夜間用暗視装置		3									3
エアラインマスク		1									1
地震警報器		1				1					2
オイルフェンス	20m×10										0
潜水器具						31					31
高圧空気充てん機		1				1					2

救急用資機材配置状況

(平成30年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	北部分署	朝川分署	南消防署	南部分署	合計
AED	1	7	4	3	1	9	4	3	6	4	42
AEDトレーナー	3	7	3	2		9	2	3	10	2	41
指導用訓練人形 成人	7	10	5	9		16	4	12	19	4	86
小児	5	5	5	6		5	4	5	6	4	45
乳児	5	5	5	5		5	4	5	5	4	43
救急隊員教育訓練人形		1	1			1			1		4

平成29年度職員研修実施状況

研修別	研修名	研修日	計(人)	
派遣研修	1 消防大学校			
	1 指揮隊長コース (第18回)	5/8-5/18	1	
	2 幹部科 (49期)	6/13-7/28	1	
	3 救助科 (76期)	8/24-10/13	1	
	4 予防科 (102期)	8/24-10/13	1	
	5 高度救助・特別高度救助コース (第7回)	2/19-3/2	1	
	2 三重県消防学校			
	1 初任科 (54期)	4/10-12/1	15	
	2 救急科救急課程 (20期)	8/21-10/13	15	
	3 救助科水難救助課程 (17期)	5/29-6/9	2	
	4 特別科気管挿管追加講習 (ビデオ喉頭鏡)	11/6-11/9	1	
	5 救助科救助課程 (26期)	9/11-10/12	3	
	6 特別科指揮課程 (5期)	12/4-12/8	1	
	7 特別科指導救命士課程	12/11-12/22	2	
	8 中級幹部科 (26期)	1/17-1/25	1	
	9 上級幹部科 (第7期)	2/5-2/8	1	
	10 初級幹部科 (39期)	2/19-3/2	4	
	11 警防科警防課程 (29期)	3/5-3/16	3	
	3 救急救命士養成所			
	1 救急救命東京研修所 (前期)	新規養成	4/5-9/29	1
	2 救急救命東京研修所 (後期)	新規養成	9/1-3/12	1
	2 名古屋市救急救命養成所	新規養成	8/24-3/12	1
	4 全国市町村アカデミー			
	1 情報公開と個人情報保護		1/18-1/26	1
	5 国際文化アカデミー			
	1 消防職員コース～非常時における外国人とのコミュニケーション		5/17-6/2	1
	2 職場のチーム力アップ		5/11-5/12	1
	3 災害発生時のマネジメント～対策本部の運営～		2/28-3/2	1
	6 市職員研修所が企画する研修			
	1 新規採用職員研修		4/4, 6	15
	2 新任係長級職員研修		4/27・5/9・5/16・5/25・5/31	13
	3 新任課長補佐級職員研修		4/14・4/19・5/17・5/25	4
	4 新任課長級職員研修		4/20・4/25・5/10・5/19・5/23-5/25のうち1日	2
	5 新所属長職員研修		4/21・5/11・5/23-5/25のうち1日	3
	6 準管理職候補者研修		5/9-6/30・7/14・9/25	4
	7 管理職候補者研修		7/18・10/16・10/17	6
	8 ステージ②4 9歳研修		5/23-5/25のうち1日 7/5・7/19	7
	9 ステージ③5 4歳研修		5/23-5/25のうち1日 7/5・7/19	3
	7 全国消防長会/消防協会東海支部が主催する講習会			
	1 消防長研修会		8/30	1
	2 火災調査研究発表会		10/19	4
	3 救急コ・メディカルセミナー		10/20	8
	4 鉄道構造講習会及び訓練会		11/11	2
	5 違反是正事例研究会		10/24	2
	6 企業防災対策指導者研修会		12/19	1
	8 三重県消防長会が関係する研修			
	1 違反是正研修会		8/2	4
2 水難救助オープンカレッジ		10/18	4	
3 救助オープンカレッジ		12/14	9	
4 JPTECプロバイダーコース		1/31	4	
5 違反是正に関する事例研究会		1/19	3	
9 危険物セミナー				
1 三重県危険物安全大会		6/9	1	
2 消防設備保守等点検業務研修会		12/16	1	
3 保安技術講習会 (大阪市)		7/27・7/28	1	
4 第16回事故の教訓と保安管理技術セミナー (大阪市)		8/30	1	
5 危険物行政実務研究会 (知多市、倉敷市)		5/19 10/20	4	
6 屋外タンク実務担当者研修会		11/17	1	
7 危険物事故防止セミナー (大阪)		10/27	1	
8 石油コンビナート事務担当研修会 (東京都千代田区)		3/9	1	
10 その他派遣研修				
1 調査技術会議 (名古屋)		6/16	4	
2 日本救急医学会中部学術集会 (第20回) (名古屋大学)		11/18	1	
3 救急隊員シンポジウム (神戸市)		1/21・11/22	1	
4 三重県内高速道路消防連絡協議会研修会 (一宮市)		1/18	5	
5 火災科学セミナー (名古屋市)		10/27	1	
6 不当要求対策研修 (津市)		1/29	1	
7 公務員倫理を考える (J K E T) 指導者養成研修会		1/23-1/26	1	
資格取得研修	11 資格取得など			
1 大型自動車運転免許 (新規)		随時	9	
2 危険物取扱者保安講習		随時	2	
3 潜水士免許 (新規)		6/7	3	
4 酸素欠乏・硫化水素危険業務作業主任技能講習		6/28-6/30	2	
5 第2種衛生管理者免許		7/18	2	
6 2級小型船舶操縦士免許 (新規取得)		3/10-3/11	3	
7 2級小型船舶操縦士免許 (更新及び失効講習)		随時	4	
8 予防技術資格者 (新規)		3/19	6	
視察研修	12 先進都市視察など			
1 第5回消式火災防ぎょ戦術勉強会 (群馬県前橋市)		12/16・12/17	2	
2 大阪市消防局国際消防救助隊員研修 (大阪市)		3/1・3/2	2	
3 総務省消防庁主催 国際消防救助隊セミナー (大津市)		2/21-2/23	1	
本部研修	13 消防本部で実施する研修			
1 新規採用職員研修		4/3-4/7	15	
2 プリセプター研修 (消防士長昇任時研修)		12/4	15	
3 救急救命士就業前病院研修		5/8-6/30	3	
4 救急救命士ビデオ頭鏡病院実習		11/6-11/9	1	
5 救急救命士気管挿管病院実習		11/21-1/22	1	
6 救急科救急課程修了後病院研修		12/4 12/5	15	

消防プリセプターシッププログラム

1 プリセプター研修について

四日市市消防本部では、新人消防職員の育成と能力開発を図り、住民に質の高い消防行政サービスの維持・向上を図るため、プリセプターシッププログラムによる新人教育を実践しています。

他の業種では、看護職場が1990年初期から質の高いサービスを安定的に提供するため、新人をバックアップする体制としてプリセプターシップを取り入れています。

プリセプターシップとは、新人職員の業務遂行に必要な能力開発を効果的に効率よく達成するための、組織内教育制度です。「努力と根性」を長い間ポリシーとしてきた日本のスポーツ界でも、辛い練習を延々と続けることを強いる時代から「科学的な個別の練習メニュー」を尊重する時代になり成果を上げています。プリセプターシップに求めていることも同様です。仕事の特性と人材の特徴を捉えて、無理なく効果的に、そして達成感を味わいながら、新人職員が成長を続けていける人材教育システムがプリセプターシップです。

さらに、プリセプターシップは、新人職員だけでなく、先輩職員のキャリアアップの一環としても機能するものです。先輩がプリセプターとして後輩を教育指導することにより、対人関係能力や指導能力の成長が図られ、その役割遂行を通じて、準備や能力開発の努力をして、消防観の確立を図る効果があります。

消防本部では、消防行政サービスの維持・向上を図るため、平成20年度から「消防プリセプターシッププログラム」を策定し、新人教育体制の確立を図りました。

2 消防プリセプターシッププログラム策定の目的

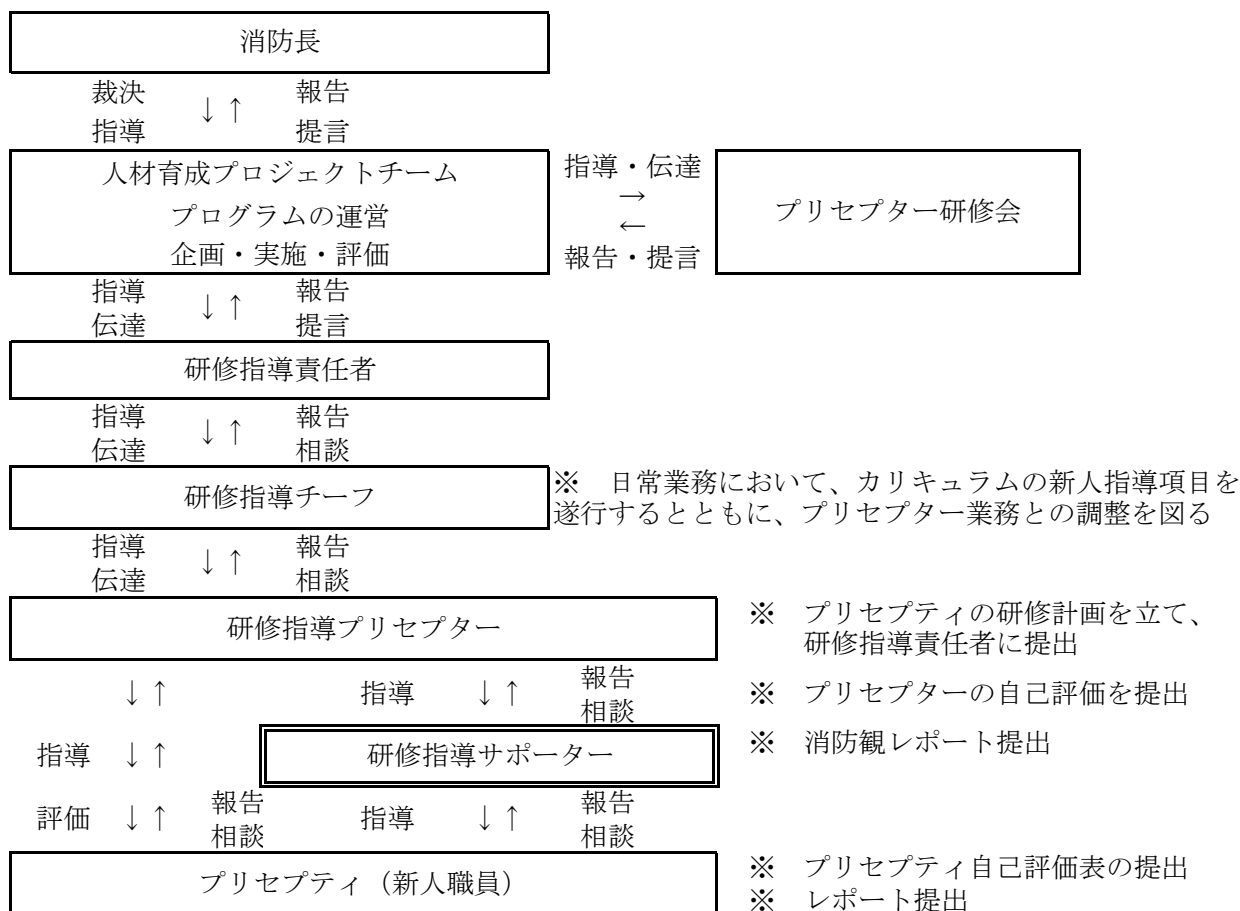
- (1) 消防学校を卒業した新人消防士（プリセプティ）に対して、リアリティショックを緩和し、早く職場に適応することができるよう促す。
- (2) 消防士長以上の階級職員を新人研修指導者とし、その役割遂行を通して、指導能力の育成および消防観の確立を図る。
- (3) 警防・救急業務に関して、消防実践能力を習得し、消防実務者としての役割が取れるようにサポートシステムを形成する。

3 消防プリセプターシッププログラム運営の方法

- (1) 目的の1、2については、プリセプターシップ研修プログラムを用いて、目的の達成を図る。
- (2) 目的の3については、分野別指導カリキュラムを用いて、職場全体で取り組む。

4 プログラムの管理運営

- (1) プログラムの管理責任 消防長
 (2) プログラムの管理運営体制



- (3) プログラムの運営

「人材育成プロジェクトチーム」

① 構成

責任者 総務課長
 委員長 政策推進監

② 機能

- ア 研修プログラムの運営（企画・実施・評価）を行う。
- イ 消防長に対して、プリセプターシップ研修プログラムに関する報告・提言を行う。
- ウ 研修部署の指導責任者およびプリセプター研修会に対して、指導・伝達を行う。
- エ プリセプター研究会（隔月1回）が、自主的・効果的に運営されるよう指導する。
- オ 研修部署から提出されたプリセプター評価表および指導観レポート等に基づき研修目標に対する達成度を評価する。
- カ 研修プログラムの総合評価を行い、消防長に報告する。

- (4) 各部署の指導体制

「新人職員人材育成体制」のとおり。

消防プリセプターシップ 新人職員人材育成体制

区分	役割・機能	備考
人材育成の責任者	消防長	
人材育成の運営	人材育成プロジェクトチーム	
人材育成計画・実施・評価		
研修指導責任者	所属長	
研修指導チーフ	係長	プリセプターの相談に対し、助言・指導する。
	新人職員が属する係の係長	
研修指導プリセプター	新人職員が属する係の消防士長以上で、所属長が指名	プリセプティーに対する研修指導担当者で、プリセプティー1人に対し、プリセプター1人の体制を原則とする。
研修指導サポーター	新人職員が属する係の採用2年目以上の職員	プリセプティーに対する研修支援・補助者
受講者	採用1年目の職員	
研修指導期間	消防学校卒業後、各所属に配属された12月から翌年の11月までの1年間	
研修指導内容	新人職員指導カリキュラム	
プリセプター養成研修	消防士長以上受講	プリセプターは必ずプリセプター養成研修を受講
プリセプターフォローアップ研修	12月から3月まで毎月実施 4月から11月まで3ヶ月に1回実施	プリセプター・プリセプティー・チーフ・所属長

平成29年度主要記録

年	月	日	主な記事	日	その他の記事
29	4	1	四日市市南消防署南部分署運用開始	14	三重県消防職員意見発表会 於: 鈴鹿市
		10	初任科生入校 於: 三重県消防学校 第54期生 15名が入校、12月1日卒業		
	5	12	防火協会総会 優良防火管理事業所として6事業所を表彰		
	5	16.17	防火管理講習	8	叙勲・褒章伝達式
		18	防災管理講習	9	三重県内高速道路消防連絡協議会 全員協議会
	6	1~30	危険物安全管理強調月間 月間中にコンビナート事業所を対象に本部で「防災診断」及び危険物保有事業所等を対象に各署で立入検査及び消防訓練を実施		
		5	優良危険物事業所表彰 優良危険物事業所として4事業所を表彰	21	消防安全衛生委員会
		27.28	防火管理講習		
		29	防火管理再講習		
	7	6	安全講演会 『救急出動時における暴力行為等の対応について』 講師: 法令遵守推進監 吉田 誠(ヨンダ マコト)氏	5	指揮活動訓練 於: 本部作戦室
		16	第54回消防団操法競技大会 於: 市民公園 25分団が出場し競技を実施 第1位: 小山田分団 第2位: 羽津分団 第3位: 県分団	26	第46回消防救助技術東海地区指導会 於: 三重県消防学校
				27	愛知県消防通信連絡協議会定期総会 於: 名古屋市役所
	8			23	第46回全国消防救助技術大会 於: 宮城県仙台市
				29	消防職員委員会
	9	10	市民総ぐるみ総合防災訓練 於: 川島小学校	1	三重県総合図上訓練 於: 三重県庁
		22	石油コンビナート・海上防災訓練 於: KHネオケム	6	救急講演会
				9	救急フェスタ
				14	三重県内高速道路連絡協議会 研修会 於: 三重県消防学校
				20	消防安全衛生委員会
	10	18	衛生講演会 『救急搬送時の感染管理』 講師: 総合心療センターひなが 感染管理認定看護師 栗原 康雄 氏	6	三重県内高速道路消防連絡協議会 総合消防訓練 於: 伊勢湾岸道 みえ川越基地

30	11	24	特別消防訓練 於:日永華陽	13	第14回三重県警防技術交換会 於:三重県消防学校	
		7.8	防火管理講習	4~5	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練 於:大阪府堺市	
		9	防火管理再講習			
		9~15	秋の火災予防運動	14	医療情報伝達訓練	
		12	街頭での防火広報活動(防火パレード) 消防本部・四日市市防火協会にて実施	16	女性消防団活性化大会 於:広島県広島市	
			防火ポスター・防火習字の入賞者の表彰 管内の園児及び小・中学生を対象に防火ポ スター・防火習字を募集し、入賞者の表彰式 を実施。	17~18	緊急消防援助隊中部ブロック訓練 於:岐阜県中津川市	
		22	消防訓練研修会 消防本部及び四日市市防火協会、病院や 社会福祉施設関係者等を対象に研修を実施			
		12	29~30	年末特別警戒		
		1	7	平成30年市制120周年記念消防出初式 於:四日市ドーム 市民に対し消防力を披露し防火防災意識の 普及啓発を図るため実施	8	朝日町・川越町合同出初式 於:朝日町
			26	第63回文化財防火デー 文化財愛護思想と防火防災思想の高揚と貴 重な文化遺産を後世に継承するため管内一 円で消防訓練や立入検査等を実施	19	三重県国民保護共同図上訓練 於:三重県庁
		1	30.31	防火管理講習		
2	1	防火・防災管理再講習	5	警防技術訓練査閲(消防長査閲) 於:森力山町 JSR社宅		
3	1~7	春の火災予防運動	23	三重県内高速道路消防連絡協議会 新名神施設説明会 於:三重県消防学校		
	3	特別消防訓練 消防春ふえす 於:都ホテル				

平成30年度消防重点事業

安全で安心なまちづくりに向け、消防力の強化・消防救急体制の充実をはじめ、総合的な災害対応力の向上を図ります。特に、各種災害に迅速かつ的確に対応するため、初動体制の強化、救命率の向上、火災の予防及び延焼防止対策を重点的に実施します。

1. 消防車両の整備について

南消防署に配備している救助機能付き消防ポンプ自動車を、消防車両更新計画に基づき最新型の消防ポンプ自動車に更新するとともに、人命救助を専門とする救助工作車を新たに配備し、救助体制の強化を図ります。また、老朽化した指揮車及び広報車等の更新を行います。

- ・消防ポンプ自動車 1台【南消防署】
- ・救助工作車 1台【南消防署】
- ・指揮車 1台、広報車(軽四) 1台【消防本部】
- ・広報車 1台【西分署】、軽トラック 1台【北消防署】

2. 消防指令センターの共同運用について

四日市市、桑名市及び菰野町の3消防本部で共同運用を行う三重北消防指令センターの円滑な運用を図るとともに、外国人からの119番通報への対応を強化するため、外国人と指令センター員のやりとりを民間オペレーターが同時通訳する「3者間同時通訳システム」を新たに導入します。

3. 災害時における情報収集体制の強化について

火災の延焼範囲や土砂災害等の状況把握など、災害時において上空から迅速かつ効率的に災害情報を収集するための資機材として「消防活動用ドローン」を導入します。

また、災害発生時の状況や消防防災施設の状況を迅速に把握するため、スマートフォン等から提供された写真や動画などの災害情報等を活用する「消防防災情報収集システム」を導入し、災害時における情報収集体制を強化します。

4. 救急業務の高度化について

救急救命士の知識、技術の向上及び医師、看護師と救急救命士の連携強化を目的として市立四日市病院の救命救急センターに設置した救急ワークステーションでの研修をより一層推進します。

また、救急救命士の指導的立場となる指導救命士を引き続き養成するとともに、管内に配備する救急車(11台)に救急救命士が常時乗車する体制を確立するため、3名の救急救命士を養成します。

5. 火災予防対策について

コンビナート事業所や防火対象物等への立入検査や消防訓練などの防火安全指導を強化するとともに、消防法令に係る違反對象物の是正を推進します。

また、住宅用火災警報器の設置促進等の住宅防火対策を推進するとともに、市民の防火意識の高揚を図るため、火災予防運動や消防広場などの啓発活動を実施します。

6. 消防団施設の充実について

地域防災の中核として、消火や救助救出活動のみならず、住民への防火指導、特別警戒、応急手当指導など、地域における消防力・防災力の向上に大きな役割を果たしている消防団の活動拠点を整備するため、老朽化した消防分団車庫の改築等を行う。

- ・四郷分団車庫(移転改築工事)
- ・富洲原分団車庫(設計業務委託等)

相 互 応 援 協 定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎよ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめるため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

(1) 消防相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日 締結	四日市市長以下県内29市町長、5消防組合管理者及び三重県知事

(2) 船舶消防に関する応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
船舶消防に関する業務協定	昭和46年5月22日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

(3) 高速道路における消防応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線、名古屋神戸線、伊勢線及び尾鷲多気線にかかる消防相互応援協定	平成25年3月19日締結	四日市市・津市・伊勢市・松阪市・桑名市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・朝日町・川越町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・紀北町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合・三重紀北消防組合